

## 時局に対する提言

### 政治力の回復を求めて

今年もまた、全国各地から同志各位をむかえて、第十一回の研修会をこの清潔で、美しい箱根の地で持つことができることを、たいへんうれしく思います。世界のなかでは動乱に明け暮れている国もございます。飢えに泣いているところもありますが、お互いがこうして静かで清澄な空気のなかで、ものを学ぶことができることは幸せであると思います。また、この会に忙しい衆参両院の先生方のご出席を得たこと、そして、秘書団の方々の熱心なそして周到な援助を得ましたこと、それよりも何よりも、有力な報道陣の各位が道を遠しとせずこの地までお出でをいただいたておりますことに対しまして、この機会に厚くお礼を申し上げる次第でございます。

先ほど小川会長からもお話がありましたように、今日、自由民主党はたいへんめんどろな状況に相成っておりますし、みなさんもまた、いたく心痛いたしておられることと思つてあります。しかしながら、われわれの自由民主党は、結党以来二十年有余にわたり、責任ある政権政党といまして、国民の期待に応えて、この困難な戦後経営のなかにおいて幾多のみるべき成果を上

### 3. 提 言

げてきたと思うのであります。世界各国との国交の回復、わが国をめぐる平和と安全の確保はもとよりでありますけれども、経済の復興と発展、国民生活の充実と向上、そういうことにつきましては、みるべき成果を上げて国民の期待に応えた輝かしい実績をあげることができた政党であるとは自負いたしております。そればかりでなく、こつこつ困難な時に開放的な民主体制を堅持しながら、このことを成し得たことに対して、私どもは深い誇りをさえ覚えるものであります。さらに最近の世界的な資源危機を克服するに当たりまして、一番足場の弱い、条件の悪いわが国が、諸外国と比較いたしました、いち早くこの克服の実績を上げつつあることに対しまして、掛値なしに誇りを覚えるものでございます。

しかしながら、長い政権を保持している間に私ども自由民主党は、心の中に驕りが生じなかつたとはいえないのであります。われわれの精神のゆるみが生まれなかつたとは、いえないのであります。政治や行政を担当する場合におきまして、マンネリズムの通弊に陥っていなかったと断言するわけにはまいらないと思うのであります。心の驕り、精神のゆるみは、その結果、綱紀の弛緩をきたし、遂にそれは汚職ということになってきたことをまのあたりに見まして、何とも申訳ないと存じております。

いま、全国の朝野でやかましく論議されており、ロッキード事件なるものも、まさにその一つであるといわねばならないと思うのであります。もとよりロッキード事件の真相は徹底的に究明しなければなりません。そして国法に照らして厳正に処理しなければならぬということ、わが党とわが党政府が、今日まで堅持してまいりました不動の方針でもあります。しかも、私をもつて言わしむるならば、すでにこのことは国民的コンセンサスにまで結晶してまいりまして、いかなる政党が政権をあずかるうとも、またいかなる方が政権の座につかれようとも、もはやこの国民的コンセンサスを揺るがすことはできないような状況になっていると思うのでございませう。事実この説明は、着々と進んでおります。物事には始めがあれば必ず終わりがあるものであります。この事件もやがて真相が解明され、国法に照らして措置すべきものが措置されるにちがいないと思うのであります、われわれは、静かにその経過と結果を見守ってまいらねばならぬと考えているのであります。

ここでわれわれ政治家が、この経過のなかでまず何を為さねばならないかといつことでありませう。それはなんと申しましても、われわれは過去の業績を誇る事よりは、今日われわれが犯した過ちにたいして、襟を正して厳しい反省を自らに加え、謙虚な気持ちで国民にお詫びをするところから始めなければならぬのではないかと思うのでございませう。厳しい反省と謙虚な陳謝が

### 3. 提 言

なければ、政治の正義は生かされるものではありません。そしてこの反省と陳謝は、地位の高いものほど、責任の重いものほど、より深く、より真剣に考えねばならない政治的義務であると思ふのであります。事実この事態に処して、自由民主党の一人一人が、深い厳しい反省の上に立つて、いま、真剣に検討されていることと確信するものでございます。そして、その最高峰にある総裁、総理は聡明なお方でございますから、最も深く苦惱され、最も真剣に憂えられ、いかにすればこの政治的責任が果たされるかについて真剣な検討がなされているものと私は確信するものでございます。

その次に、この局面に際しまして私どもが真剣に考えて実践しなければならぬことは何かと申すと、政治的な対応力、統治能力、近頃はやりの言葉で申しますならば、ガバナビリティー、その回復、強化であると思ふのであります。なるほど今日、世界を見ましてガバナビリティーの弱まり、動揺ということが識者によって問われておりますことは、諸君もご承知のとおりでございます。それは体制のいかに問わず、民度のいかに問わず総ての国が直面している問題であつて、いかにして自らの国のガバナビリティーを確立して国民の期待に応えるかといふことに、各国の政府が腐心していることは、みなさまご案内のとおりでございますけれども、それにもかかわらず、その確立に成功いたしている国は殆んどないと断言してもよい状態でありますことも、

また、諸君ご承知のとおりでございます。教育の問題をとってみましても、外交の問題をとってみましても、インフレ物価の問題をとってみましても、労働の問題をとってみましても、あるいは、社会問題をとってみても、または、環境の問題をとってみましても、いずれも政府が全力をあげて対処しても、なお足りない問題ばかりでございます。世界全体が異常なガバナビリティーの弱さに嘆いているのが、今日の実情でございます。

われわれは戦後、政治的には、ご案内のように自由主義陣営と社会主義陣営の両陣営に分かれ、米ソ両国をそれぞれ宗主者として、冷たいバランスのとれた冷戦対立の時代をそうとう長く経過することができたわけでございます。ところが、いまや両陣営とも、果てしなく分極化してまいりましたばかりでなく、この両陣営に属さない国々が世界の大半を占める第三世界を形成するに至っております。さらに第三世界を形成することをもつてなお足りとせず、その中にはさらに第四勢力が生まれつつあるというような非常にめんどろな世界の構成になりつつあります。各民族国家が、そういうなかでどうして自らの安全と生存を確保するかに狂奔しながら、命がけの疼きの中にありますことはご案内のとおりであります。

社会的に見ましても、東西両陣営のいずれを問わず、かつてありました既成の秩序は動揺し、崩壊の過程にありますけれども、これに代わる新しい秩序は、まだ生まれてはいないのでござい

ます。長幼の序、師弟の別、そういった秩序には、不幸な断絶がみられるようになっております。ことは、洋の東西、体制の如何を問わない状況にあります。

経済をとつてみますと、かつては金・ドル、安定したドルの価値の上にたてられた堅牢な経済の秩序のうえに、安定した経済の運営が保障された時代がそうとう長く続いたのであります。ところが、数年前から金・ドル体制は、すでに崩壊してしまひまして、通貨制度は果てしないフロートの世界に陥つてしまつております。そういう状況のもとにおきまして、有限な資源を持つ資源保有国は、経済の原則を無視いたしましたして、資源の値段をめぐつぱうに引き上げるといふような措置が、ここ三、四年の間に行なわれて、世界経済全体が大きな動揺のなかに呻吟いたしております。国際収支のアンバランスは、益々ひどくなつてゐるよつな状況でございます。

各民族各国家が、そういう内外にわたる困難な状況の中で、自らの政権のガバナビリティーをどのようにして回復強化するかということが、いかにむずかしいものであるかといふことは、もとより明らかなきことでございます。わが日本もその例外ではないのであります。自由民主党とその政府もまた、こういう問題に對しまして正しい手続きで、正しい時期に、国民の要望に的確に、果たして応え得ているかどうかといふことを反省いたしますならば、足りないことばかりなのでございます。しかし、われわれは評論家ではないのでありますから、世界的にむずかしい世

の中だから仕方がないということ、放置しておくわけにはまいらないのであります。なんとかして、この弱まったガバナビリティーは強めなければならぬのであります。失われた力をとり戻すように努めることがわれわれの義務であります。

今日、わが国の状況はどうかと申しますと、前国会の状況をみなさまがご覧になれば明らかであろうと思つのであります。予算は年内に編成し、通常国会冒頭に提出いたしましたのでございませぬけれども、この予算は、ついに年度内に成立ができてなくて、暫定予算でつなげなければならなかつた。参議院におきましては、一日も予算審議ができないような状況にありましたことは、ご案内のとおりであります。しかも、その予算の成立さえ、自由民主党の主体的力によるのではなくて、五党首会談と両院議長力を借りなければ、予算委員会の開会ができなかつたというような状況でありましたことは、ついにこの間のことであつたのでございます。こういう状況は、国民の利害に近接している問題をかかえている政府といたしまして、いち早く是正しなければならぬこととでございます。しかも、この前の国会では、特例公債法案を初めといたしまして、重要な法案が積残しになつてゐるわけでございます。こういう法案は、次の国会で通せばよろしいといふような単純なものではないのであります。こういう法案は、時を争うものでございます。今日、一日も早く成立させないと、財政の運営に支障を来たし、経済の回復を失速させ、労働に不

安を与え、社会不安さえ招来しないとも限らないようなゆゆしい問題でございます。こういう事態を行政府だけの力で回復せよといっても、行政府にはそういう権限が与えられていないのであります。したがって政治の力、その現われである国会のガバナビリティーは一日も早く回復されなければならぬのであります。国民のためにわれわれは一日も早く、このガバナビリティーの回復を願っていたのであります。もし、このガバナビリティーの回復のために何もしい者があるとするならば、政治的責任も怠っているといわねばならないと思つております。

どなたが今、政権の座におられようと、もしこつこつという状態でございますならばそれは許されないことでございます。どなたであっても、政治のガバナビリティーは、国民のために回復されなければならぬのが今日の急務であります。私どもは、今日、この緊迫した事態において派閥的利益に狂奔しようなどという気持ちは毛頭ありません。また政権の争奪にうつつを抜かすほど愚か者ではないつもりでございます。国民のために一日も早くわれわれの国会と、われわれの政府は、この大事なガバナビリティーを国民のために回復しなければならぬと考えております。自由民主党の同憂の士の念願するところは、そこにあることを全国民に理解していただくかなければならないと思つております。そして自由民主党のみなさんが、一生懸命に事態の打開に私心を捨てて当たつていますから、この問題は必ずや解決されるものと確信するものでござい

ます。私もまた、宏池会の同志の先生方と相図り、党内同憂の士と提携しながら、この大事な任務に挺身して、ご期待に応えなければならぬと決心しているのであります。

われわれは個人といたしましても、当然、新たな決意で、厳しい謙虚な反省の上に立つて、公私にわたる生活態度で改めなければならぬものは改めていかなければならないと考えております。われわれ宏池会もまた、自由民主党内における歴史ある集団といたしまして、改むべきは改め、強めなければならぬ活動と機能は強めてまいらなければならぬと思っております。さらにわれわれは、自由民主党のなかにおいて、お互いに切磋琢磨し、お互いに毎日の情報を正確に交換しあわねばなりません。そして、お互いに助けあい、喜びも悲しみも分かちあう間柄であるよう努めております。そしてその念願とするところは、自由民主党のガバナビリティーが回復され、その信用が高められ、その政策企画力と実行力が強化されて、国民の期待により有効に應える体制をつくり上げることが、第一義的な義務であることは申すまでもないこととございます。そういう方針のもとで、私どもは何をなすべきであるか、何をなすべきでないか、宏池会の次回においても真剣な検討をいたしているところでございます。

われわれは個人といたしましても、同志の一員といたしましても、さらには自由民主党の党員といたしましても、ここに新たな決意をもって新たな事態に、新たな勇氣を持って臨まなければ

ならないと考えているわけでございます。それは、私どもの政治的野望を満たすべきものでもなければ、私どもが既成の体制の上で引き続きマンネリズムにひたろうとするものでもありません。国民のために、われわれが厳しい対応力をいかにして発揮するかという一点にしぼって、真剣な努力をやってまいることこそが、われわれの任務であると私どもは考えているわけでございます。諸君のいっそうのご理解と、そして諸君のご鞭撻を切にお願いたします。全国津々浦々にありまして、草の根を分けて、諸先生を助けながら、日本の未来を築くためにご努力をたまわっている諸君に、いっそうの勇氣をもつてご奮発をたまりますよう、諸君のご健勝といっそうのご発展をこいねがって、私のご挨拶を終わろうと思ひます。

(昭、五一・八・二九 宏池会青年研修会での演説速記・於箱根、芦の湖ホテル)